

公民館だより

10月 回覧

第19回犬飼町スポーツ振興会長杯ナイターソフトボール大会

7月10日から31日にかけて参加4チームにより上記大会が行われました。初出場の OCKbulls（株式会社大分県畜産公社チーム）の優勝となりました。結果は次のとおりです。

👑優勝 OCKbulls（株式会社大分県畜産公社）

準優勝 株式会社廣瀬組 第3位 黒松区 第4位 二部区

【最優秀選手賞】新宮聡（OCK）



男性料理教室

9月6日に男性料理教室を開催しました。参加者12名が、講師の話聞きながら、ごはん、スープ、ブロッコリーの早ゆで、豆腐の落とし揚げ、焼き魚をみんなで協力し作りました。参加者の方から「楽しかった。次回もあれば参加したい」と嬉しい声をかけていただきました。次回開催を検討していますので多くの方の参加をお待ちしています。



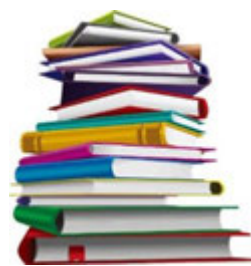
女性学級館外研修

令和5年度 女性学級の館外研修を9月11日（月）実施しました。別府市の太陽の家は「世に心身障がい者はあっても仕事に障がいはありえない」という信念の下、1965年に故中村裕さんにより設立されました。太陽の家の歴史と変遷及び障がい者の作業等を視察研修し、障がいを持たれている方が、独自で考え出した工具等を実際にふれて、使ってみて等の体験もさせていただきました。ここでは障がい者と健常者の、垣根のない生活空間に感動を覚えました。





図書室だより



新着図書のご紹介

「木挽町のあだ討ち」 永井 紗耶子

◆第169回直木三十五賞・第36回山本周五郎賞 受賞作◆

疑う隙なんぞありはしない、あれは立派な仇討ちでしたよ。

語り草となった大事件、その真相は――。

ある雪の降る夜に芝居小屋のすぐそばで、美しい若衆・菊之助による仇討ちがみごとに成し遂げられた。父親を殺めた下男を斬り、その血まみれの首を高くかかげた快挙はたくさんの人々から賞賛された。二年の後、菊之助の縁者だというひとりの侍が仇討ちの顛末を知りたいと、芝居小屋を訪れるが――。



「極楽征夷大將軍」 垣根 涼介 ◆第169回直木三十五賞受賞作◆

やる気なし 使命感なし 執着なし

なぜこんな人間が天下を獲れてしまったのか？

動乱前夜、北条家の独裁政権が続いて、鎌倉府の信用は地に堕ちていた。

足利直義は、怠惰な兄・尊氏を常に励まし、幕府の肅清から足利家を守ろうとする。やがて後醍醐天皇から北条家討伐の勅命が下り、一族を挙げて反旗を翻した。

一方、足利家の重臣・高師直は倒幕後、朝廷の世が来たことに愕然とする。後醍醐天皇には、武士に政権を委ねるつもりなどなかったのだ。怒り狂う直義と共に、尊氏を抜きにして新生幕府の樹立を画策し始める。混迷する時代に、尊氏のような意志を欠いた人間が、何度も失脚の窮地に立たされながらも権力の頂点へと登り詰められたのはなぜか？幕府の祖でありながら、謎に包まれた初代将軍・足利尊氏の秘密を解き明かす歴史群像劇。



「ハンチバック」 市川 沙央 ◆第169回芥川賞受賞◆

選考会沸騰の大問題作！

「本を読むたび背骨は曲がり肺を潰し喉に孔を穿ち歩いては頭をぶつけ、私の身体は生きるために壊れてきた。」

井沢積華の背骨は、右肺を押し潰すかたちで極度に湾曲している。

両親が遺したグループホームの十畳の自室から積華は、あらゆる言葉を送り出す――。

